

オリックスグループの 強みと今後の成長戦略

オリックス株式会社

証券コード **8591**

2022年3月15日







会社概要

ORIX Outline

1

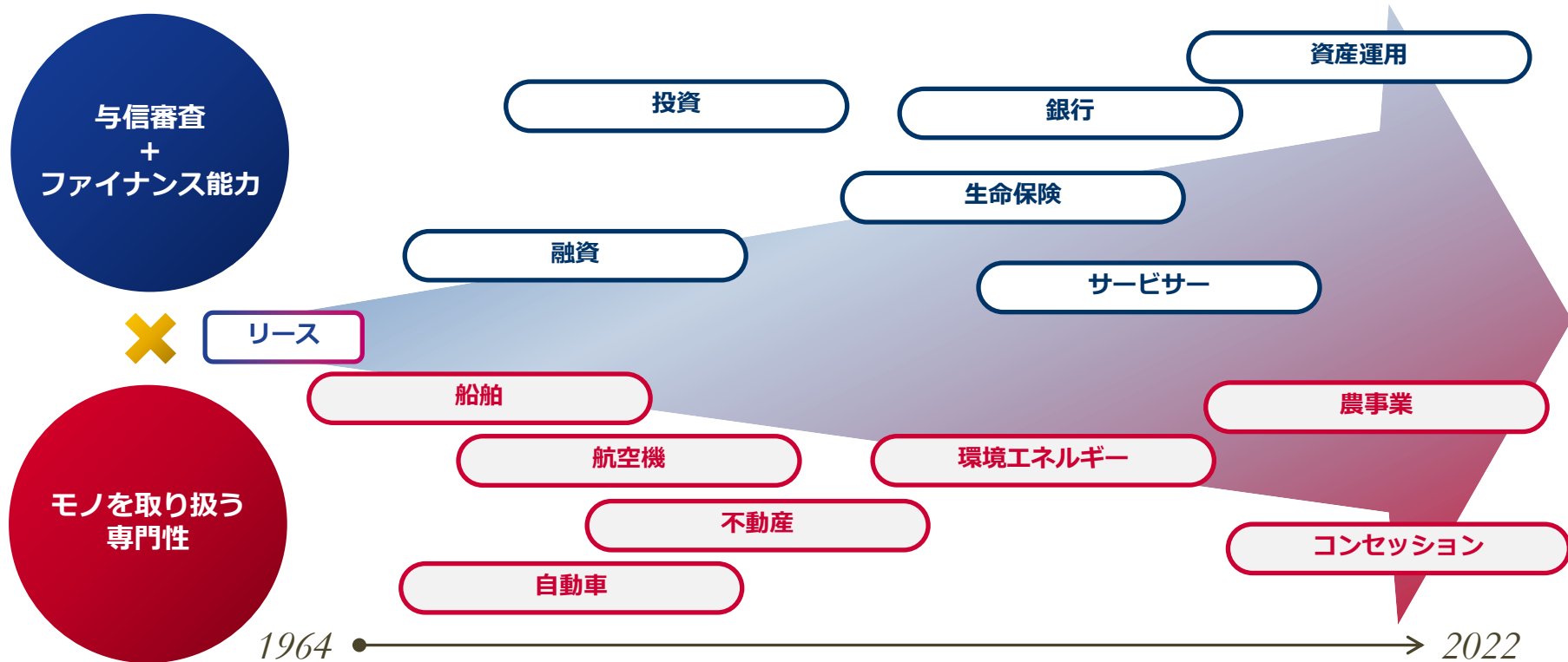


**「リース」という
新しい金融手法を
日本に**



独創性を意味する「ORIGINAL」と、柔軟性や多様性を象徴する「X」の組み合わせ。
無限大の可能性を求めて、新たな領域を開拓し多角化を推進してきた。

「金融」と「モノ」の専門性を高めながら「隣へ、そのまた隣へ」



国内企業において有数の規模に成長

※2021年3月期もしくは2021年3月末時点のデータに基づく。

グローバルネットワーク
31カ国・地域



当期純利益
1,924億円



(2022年3月期の予想は3,100億円)

環境エネルギー事業
設備容量

3GW*



従業員数
33,153名



総資産
13.6兆円



アセットマネジメント事業
運用資産残高

50兆円



個人株主数
75万人 (東証第**3**位)



株式数の個人株主比率：15%

健全性
信用格付**A**格以上



自動車事業
車両管理台数

141.6万台



*オリックスの持分比率および個別プロジェクトの出資比率を考慮して算出した数値。2021年3月末時点でクローリング手続き中の案件の設備容量も含む

サステナブルな社会の実現のため、さまざまな社会課題の解決に貢献する

社会課題解決への取り組み例

脱炭素社会への移行



- ・再生可能エネルギーの推進
- ・環境性能の高い不動産の開発

サーキュラーエコノミーの推進



- ・廃棄物の再資源化
- ・中古の機器や自動車の販売

企業の活性化



- ・社会を支える企業への投資
- ・中堅、中小企業の支援

地域の活性化



- ・オフィス、商業施設、ホテルなどで構成される複合型まちづくり



重要目標の設定

2050年3月期までに、
GHG排出量を実質的にゼロとする



2030年3月期までに、
女性管理職比率を30%以上とする



2030年3月期までに、
女性取締役の比率を30%以上とする



※重要目標の詳細は、P.31をご参照。

サステナブルな社会の実現





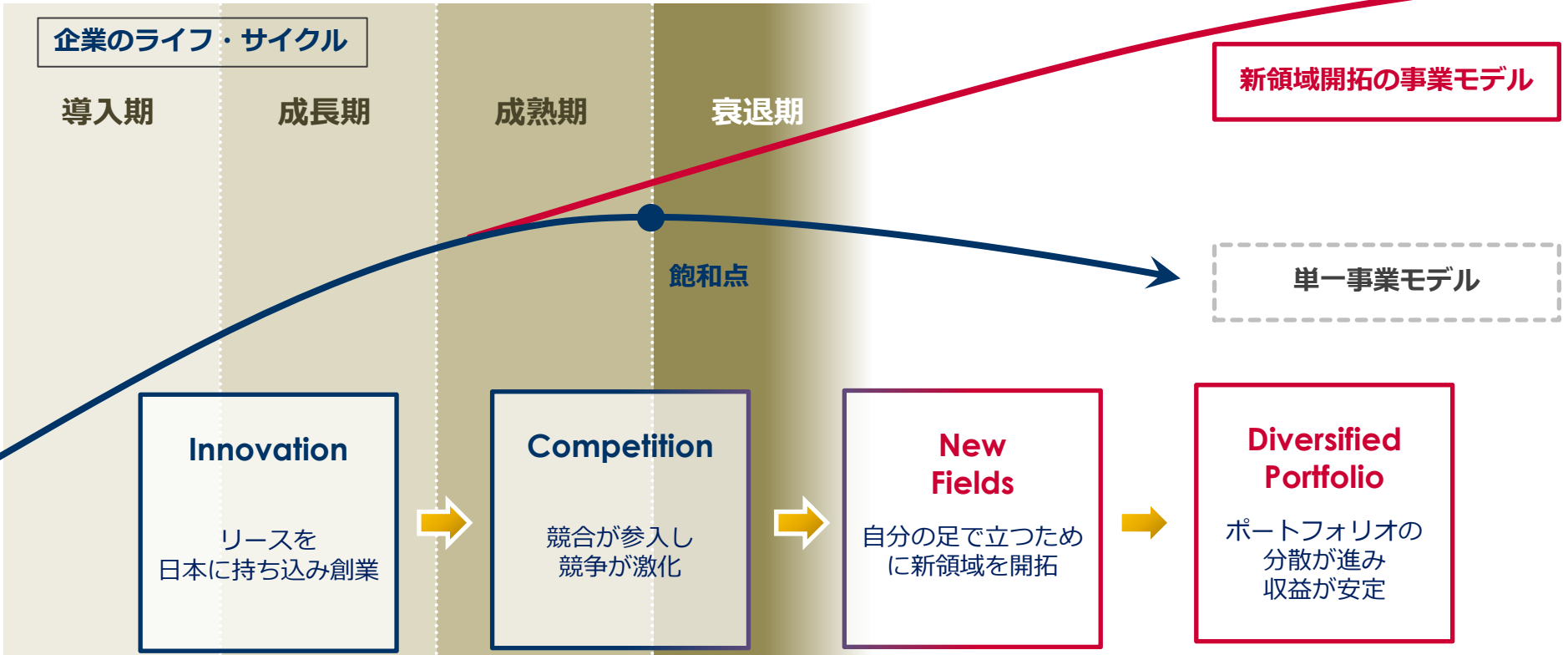
強みと特長

THIS IS ORIX

2

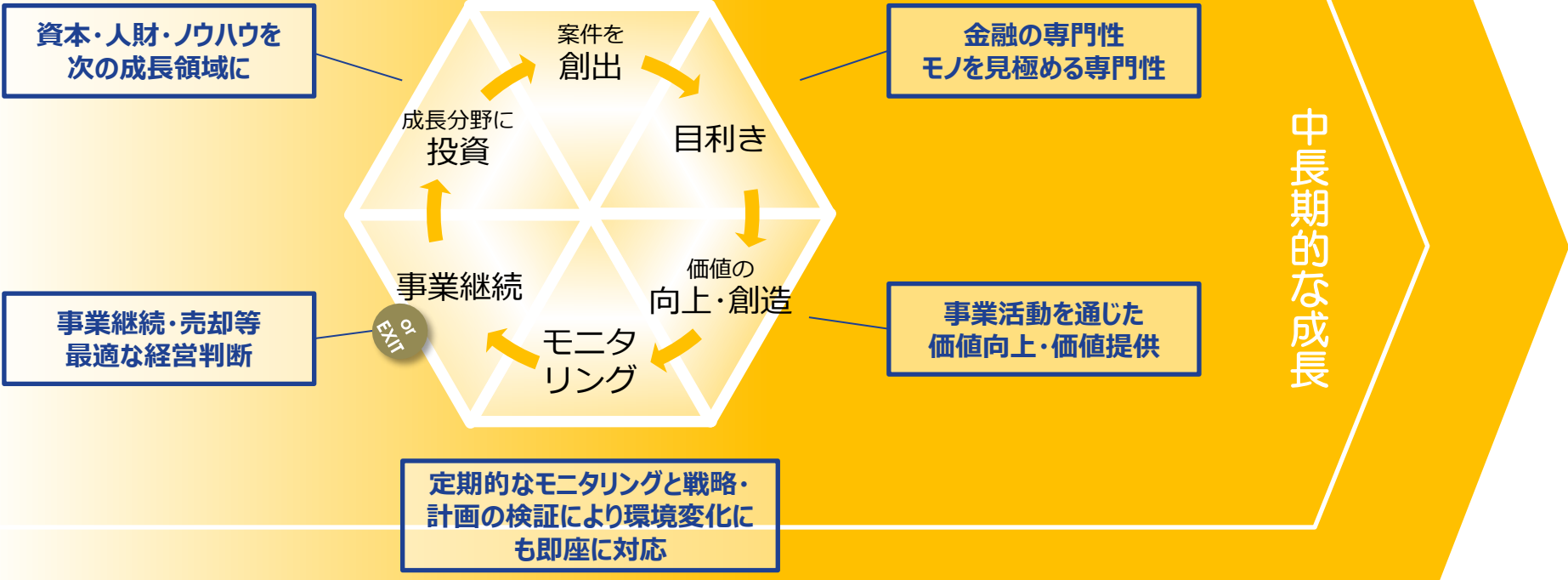
なぜ変化し続けるのか

常に新領域を開拓し、持続的成長を実現



リスクを見極め価値向上を図るバリューアップモデルが根幹

バリューアップモデル





取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO

井上 亮

失敗を恐れず、現場を起点に
新領域に踏み出す勇気を支える。

王道を歩いてはダメ。
新規ビジネスというのは現場の隣にある。

オリックスでは減点評価は行わず、加点評価。
チャレンジした結果、たとえ失敗しても、
失敗を通してノウハウが残る。

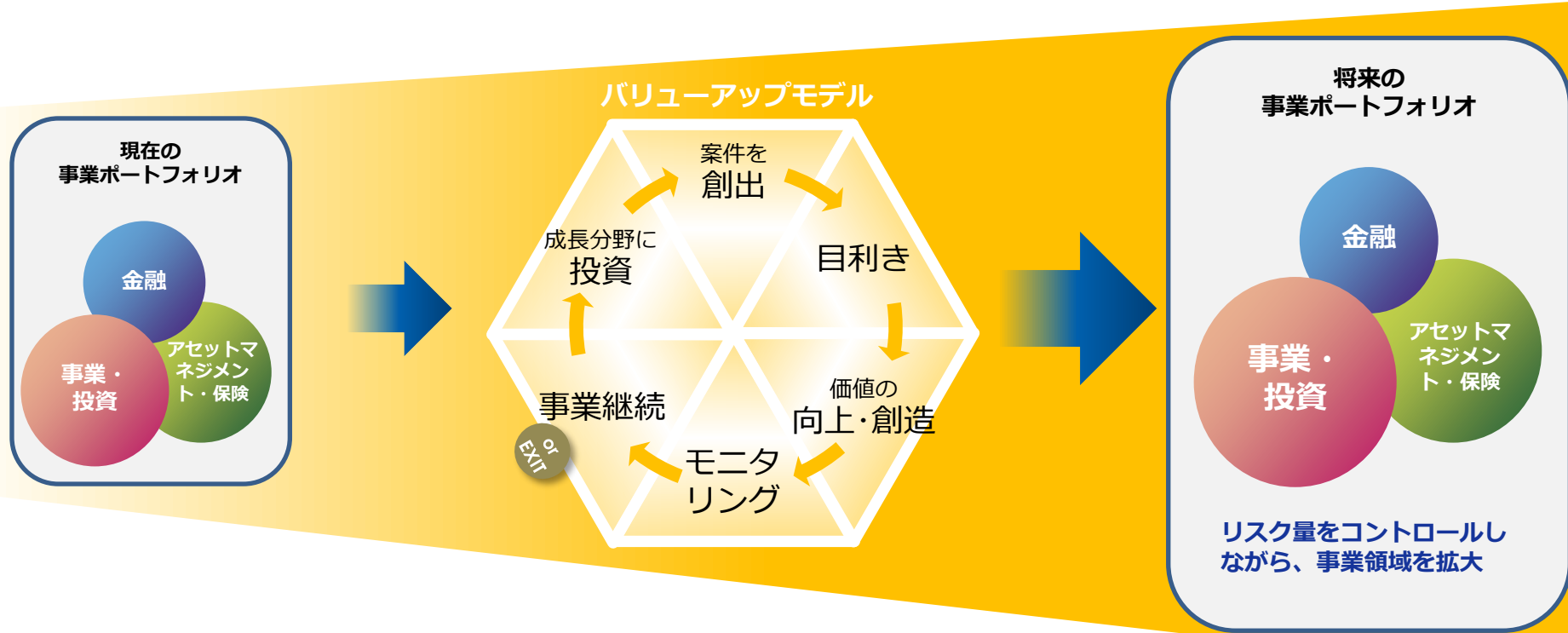


成長戦略 目指す姿

3

今後の成長イメージ

バリューアップモデルをくり返ししながら、事業領域をさらに拡大していく



注力分野である環境エネルギー、アセットマネジメントを中心に投資を実行

2021年3月期および2022年上期 主な投資案件（2021年11月4日 発表時点）

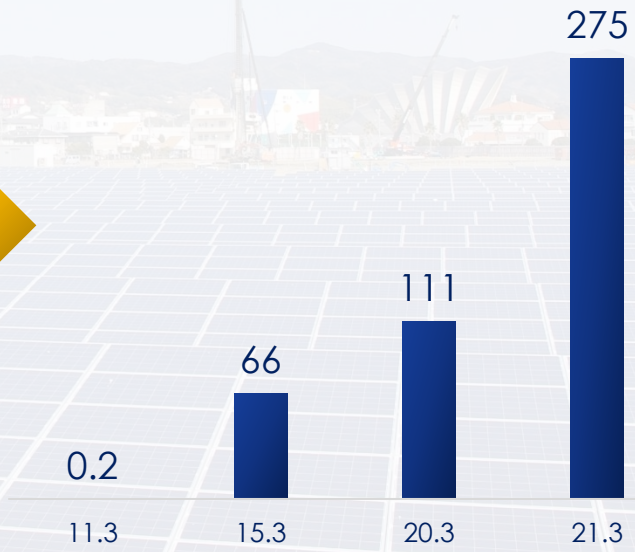
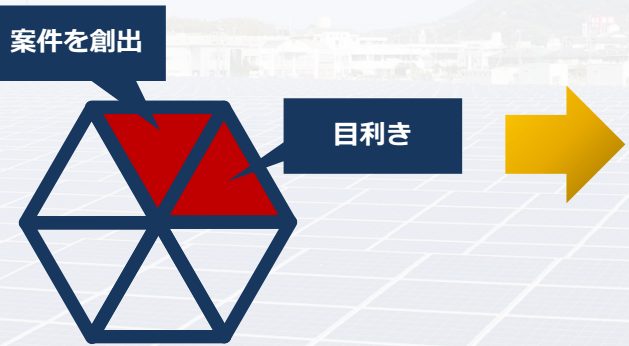
分野	3分類	投資額（億円）	主な投資例
環境エネルギー	事業・投資	2,000	スペイン拠点のグローバル再生可能エネルギー事業者 Elawan Energyや、インドの大手再生可能エネルギー事業者 Greenko Energy
アセットマネジメント	アセットマネジメント・保険	300	英国のオルタナティブ資産運用会社Gravis Capitalや、米国の不動産関連の資産運用会社Boston Capital
国内プライベートエクイティ投資	事業・投資	900	足場・仮設機材レンタル大手の杉孝や、ネットワーク機器メーカーAPRESIA Systems
不動産	事業・投資	1,000	首都圏を中心とした物流施設
その他	—	3,600	船舶事業における最新鋭エコシップの発注 アジアでのプライベートエクイティ投資

合計 約**8,000**億円

総出力規模1,000MW（1GW）を誇る、国内最大規模の太陽光発電事業者

2000年代初頭より、再生エネルギーに着目
事業リスク、経済性等を十分に検証

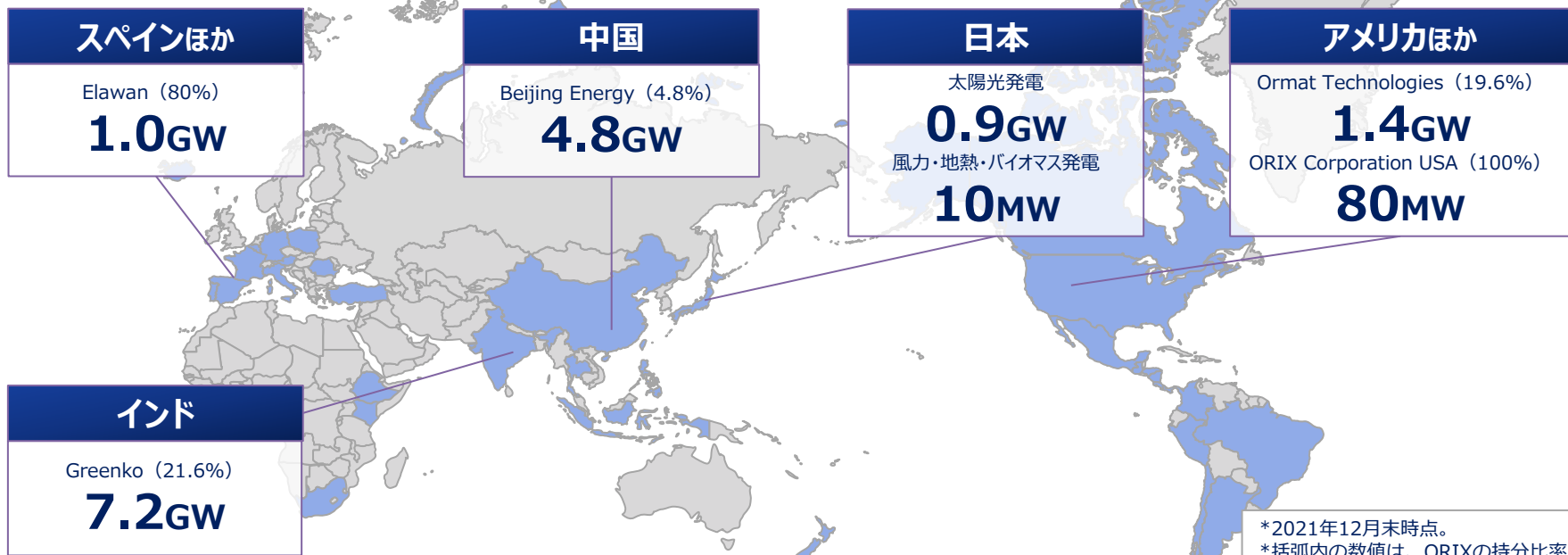
環境エネルギーセグメント
利益推移（億円）



稼働済の設備容量は全世界で**3GW**（ネットの数値。持分比率および個別プロジェクトがJVの場合はその出資比率も考慮）

日本の上場企業における再生可能エネルギーのトッププレイヤー

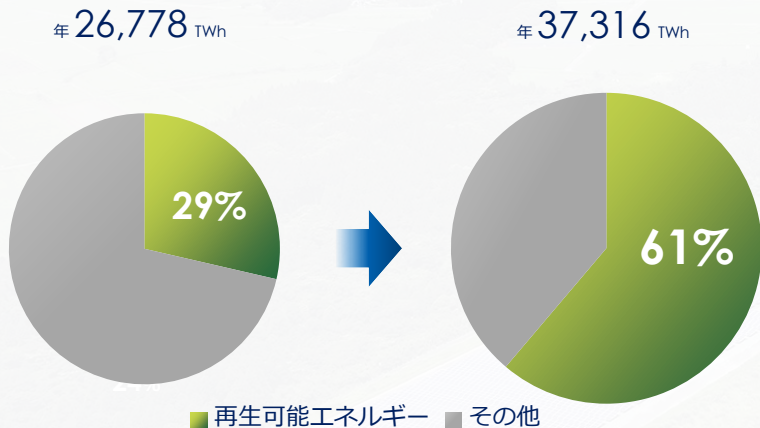
各地域での設備容量（グロスの数値）



*2021年12月末時点。
*括弧内の数値は、ORIXの持分比率

再生可能エネルギー需要は拡大傾向。脱炭素社会への移行に貢献していく

世界の電力需要と
再生可能エネルギー割合の予測



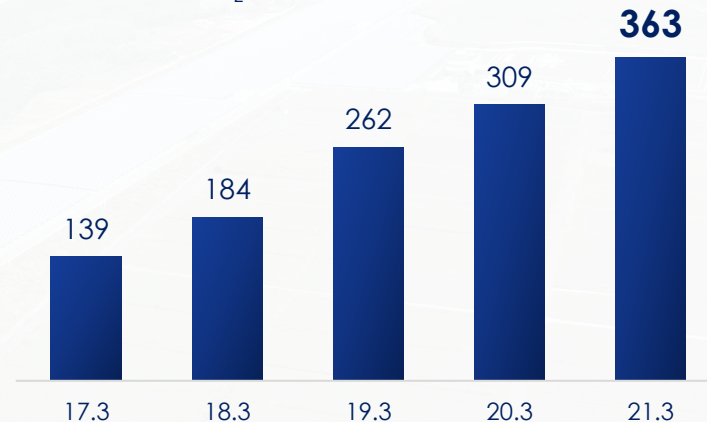
2020年実績

2030年予測

国際エネルギー機関: Net Zero by 2050 - A Roadmap for the Global Energy Sector (2021) より当社作成

オリックスグループ 温室効果ガス (CO₂) 削減貢献量の推移

(単位: 万トンCO₂e)



太陽光発電所の
運営・管理・保守を担うサービスも展開中

さまざまな資産の管理・運用を代行することで、安定的な手数料収入を獲得

金融資産や不動産など、さまざまな運用
資産に対する“目利き”を発揮
高い管理能力により“価値を向上”



運用/管理する資産の種類



運用資産残高 計**54兆円**
(2021年12月末時点)

傘下のRobecoを中心に、サステナビリティ投資の需要を取り込んでいく

Robecoの特長



1929年にオランダで創業。



1990年には、大手運用会社としては初のサステナブル株式ファンドを組成。サステナビリティ投資のリーダー。



95%のファンドが、サステナビリティ特性に適合するファンドとして分類される（2021年3月時点）。

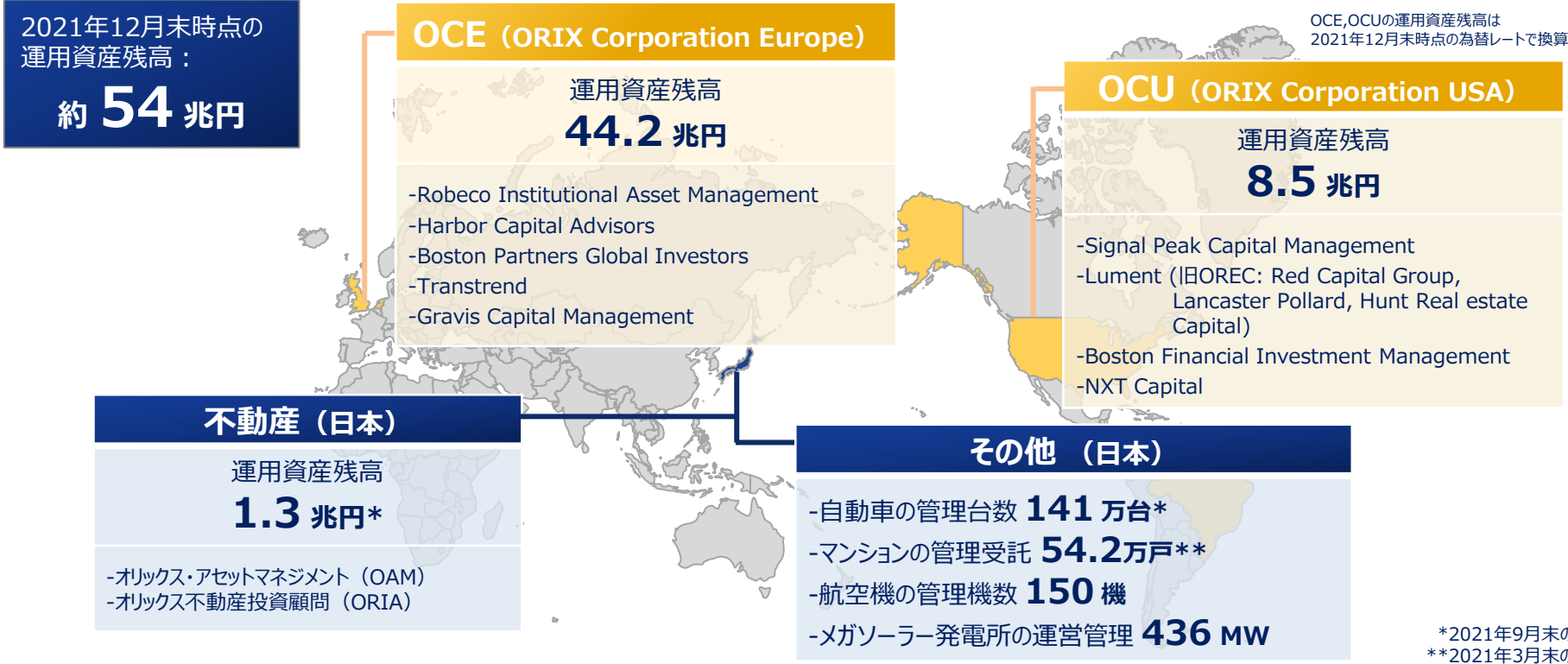
**2013年のグループ入り以降、
オリックスのアセットマネジメント事業をけん引**

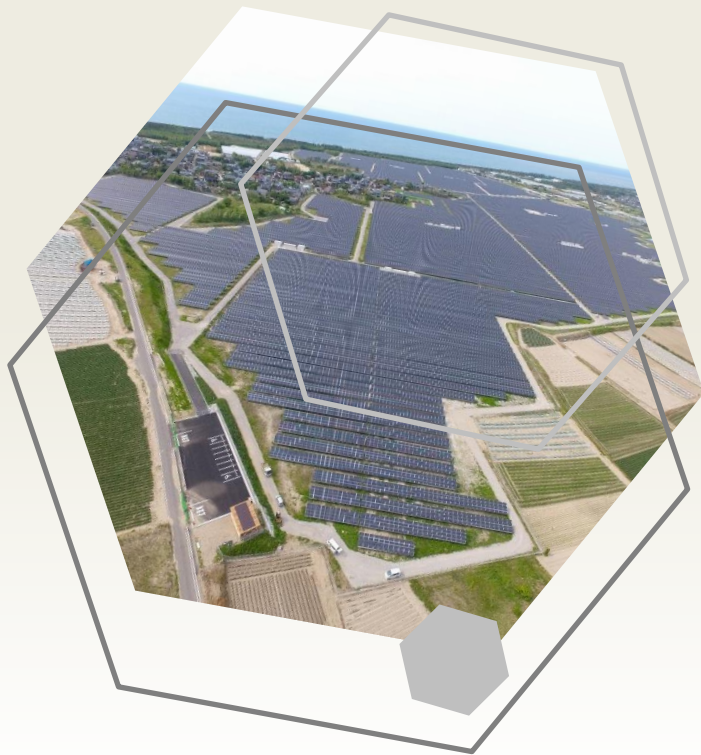
世界のサステナビリティ投資残高の推移 (兆USD)



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE
のデータをもとに当社作成

金融資産の運用のみならず、不動産・航空機など幅広い資産運用ビジネスをグローバルに展開

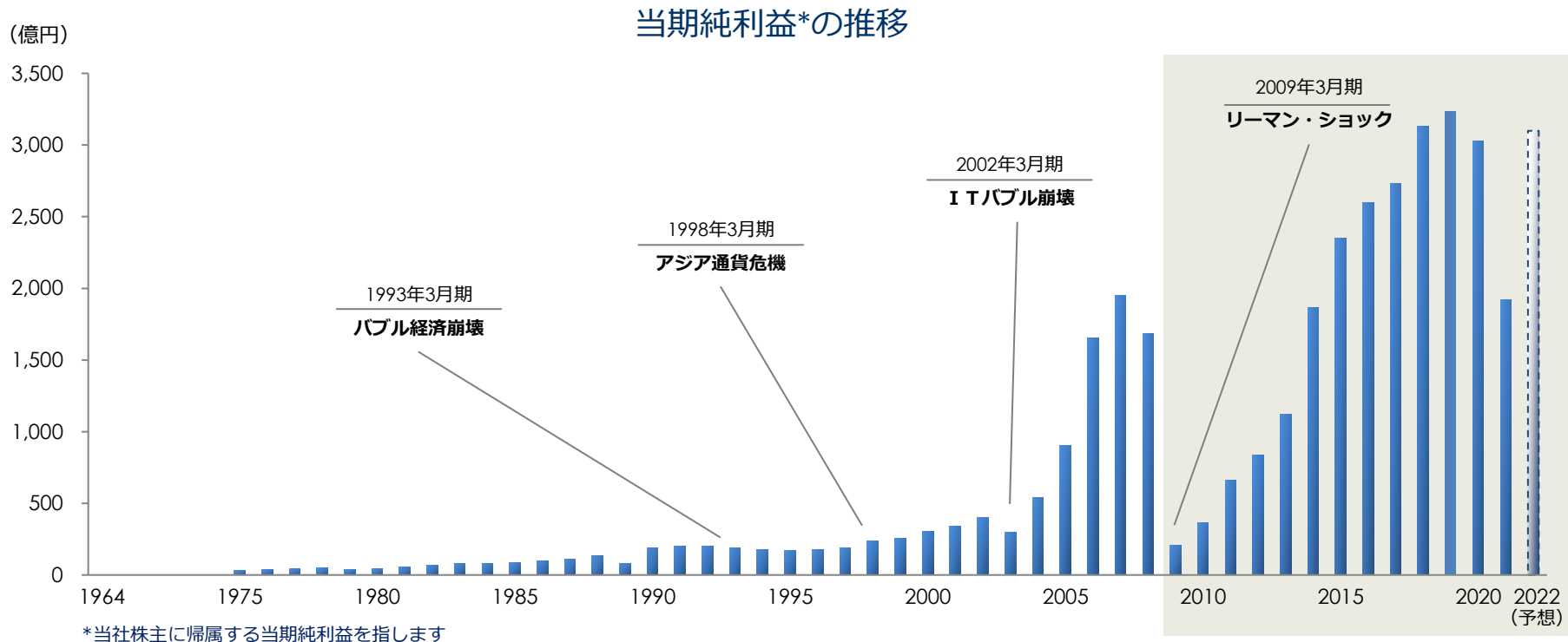




ポートフォリオ マネジメント 複数の足

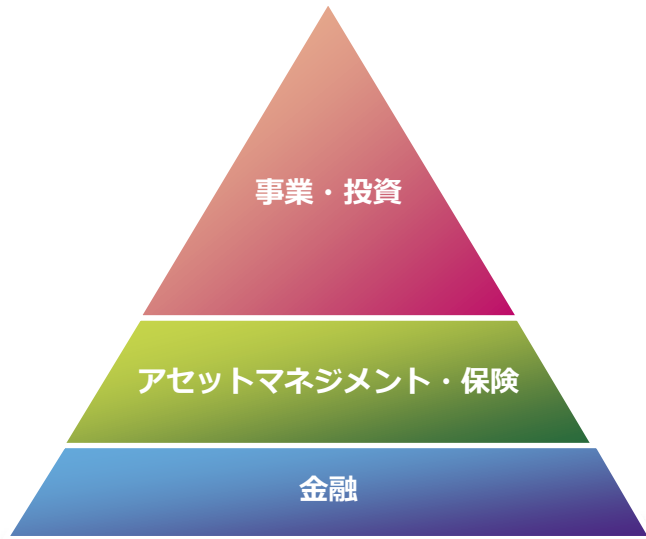
4

収益の多様化が奏功し、リーマン・ショックも黒字で乗り切った

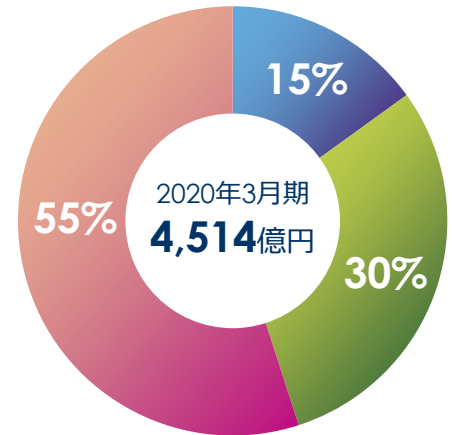
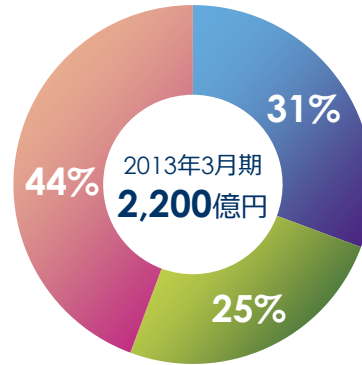


「金融」以外の分野を積極拡大し、収益の成長と安定化を両方実現。

セグメント利益構成の推移



「金融」以外の分野を積極拡大
収益の成長・安定化



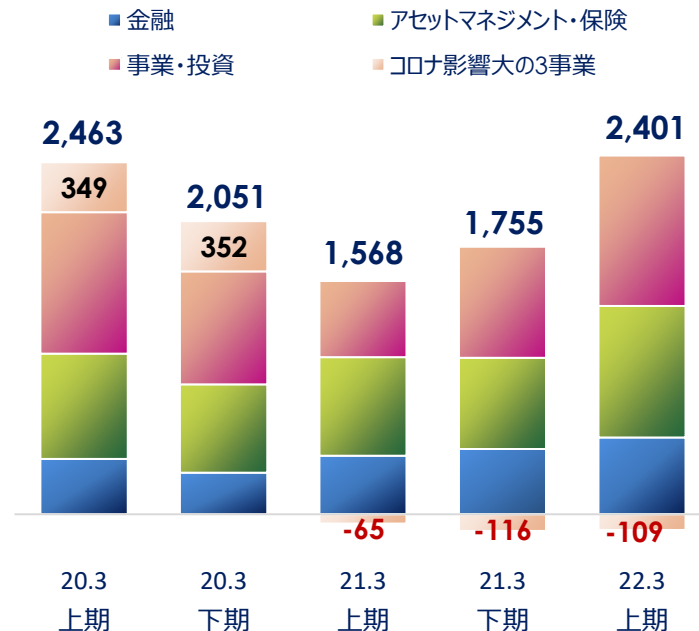
「事業・投資」の利益シェアが拡大

分散されたポートフォリオにより、コロナ禍でも利益を確保

コロナ影響の大小

分類	事業内容	コロナ影響
金融	リース、貸付金、銀行、カードローンなど	小
アセットマネジメント・保険	アセットマネジメント、生命保険など	小
事業・投資	自動車、環境エネルギー、プライベートエクイティ投資など	小
	不動産運営、コンセッション、航空機	大

セグメント利益の推移 (億円)



航空機リース事業を中心にエクスポージャーはあるが、僅少

航空機リース事業

オリックスが30%出資するAvolonにおいて、2021年12月31日時点でロシア向けに14機。

現在ロシア国内にあるのは10機（簿価約USD100mil、オリックス持分考慮後）

航空機リース事業 以外

ファンドを通じた投資残高が約10億円。

欧州にてRobecoを中心としたアセットマネジメント事業を展開しているが、直接的なエクスポージャーなし。

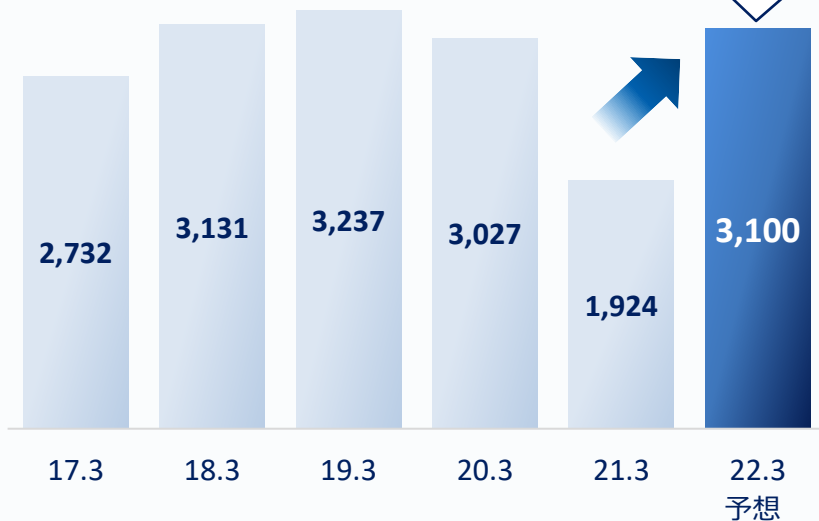
多様な収益源により、コロナ禍前の利益水準に回復

22.3期配当は、配当性向33%もしくはは通期配当額78円のいずれか高い方

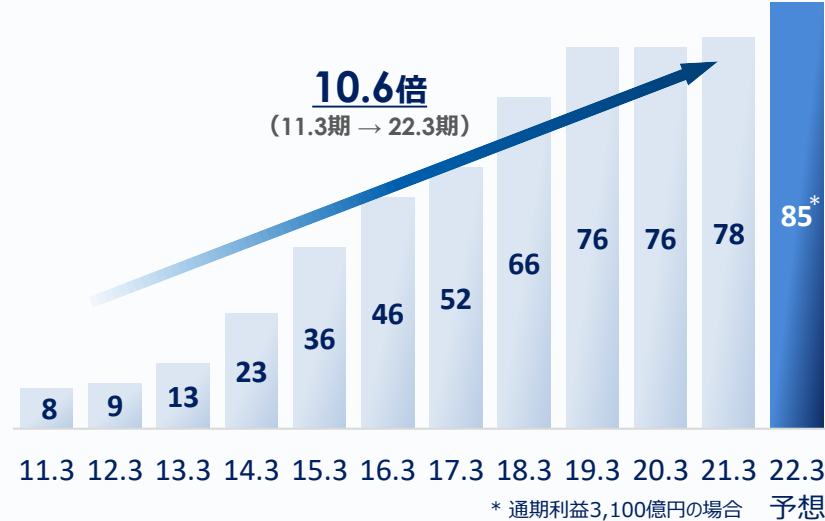
当期純利益の推移

(億円)

2021年12月に、
従来の予想2,500
億円より上方修正



1株当たり配当の推移の推移 (円)



10.6倍
(11.3期 → 22.3期)

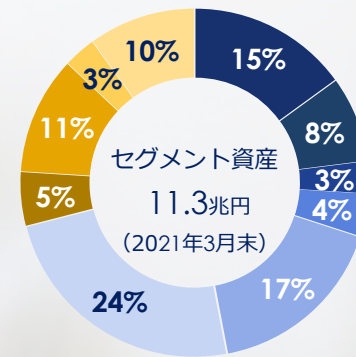
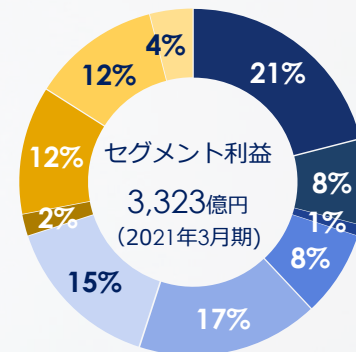
* 通期利益3,100億円の場合



参考資料

10のセグメントで構成され、分散された事業ポートフォリオを構築

法人営業・メンテナンスリース	金融、各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・IT関連機器などのリースおよびレンタル、弥生
不動産	不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント
事業投資・コンセッション	企業投資、コンセッション
環境エネルギー	国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理
保険	生命保険
銀行・クレジット	銀行、カードローン
輸送機器	航空機のリース・管理、船舶関連投資
ORIX USA	米州における金融、投資、アセットマネジメント
ORIX Europe	株式・債券のアセットマネジメント
アジア・豪州	アジア・豪州における金融、投資



2021年11月に、ESG関連の重要目標を公表

- 1 2023年6月の株主総会までに、取締役会の**社外取締役比率を過半数**とする。
- 2 2030年3月期までに、取締役会の**女性取締役の比率を30%以上**とする。
- 3 2030年3月期までに、オリックスグループの**女性管理職比率を30%以上**とする。
- 4 2030年3月期までに、オリックスグループの**GHG(CO₂)排出量を、2020年度比実質的に50%削減**する。
- 5 2050年3月期までに、オリックスグループの**GHG(CO₂)排出量を実質的にゼロ**とする。
- 6 2030年3月期までに、**GHG(CO₂)排出産業***に対する**投融資残高を、2020年度比50%削減**する。
- 7 2040年3月期までに、**GHG(CO₂)排出産業***に対する**投融資残高をゼロ**とする。

*一部の海外現地法人における化石燃料採掘業やパーム油プランテーション、林業を指す

● 株価

2,283円

2022年2月末時点
(前年比+27%)

株主優待も導入しています



● 参考データ

時価総額	2.7兆円	PER (予想)	8.8倍
最低購入金額	228,300円	PBR (実績)	0.8倍
単元株数	100株	配当利回り (予想*)	3.7%

*一株当たり通期配当金85円の場合

「投資家情報」サイトでは、最新の決算情報など、各種IR情報を掲載しております。

🔍 オリックス 投資家情報

<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/index.html>

個人投資家向けウェブサイトをリニューアルしました！

個人投資家の皆さまのご理解に役立つポイントを、まとめました。

The screenshot shows the Orix investor website. The navigation bar includes links for '企業情報トップ', 'ニュースルーム', 'オリックスについて', '投資家情報', 'サステナビリティ', '採用情報', and 'ブランドライブラリー'. The main content area is titled '個人投資家の皆さまへ' and features a section 'オリックスを知る5つのポイント' (5 points to know Orix). This section contains five icons with corresponding text: '事業分野' (Business Fields), '強み・成長戦略' (Strengths & Growth Strategy), '業績・株主還元' (Performance & Shareholder Return), 'サステナビリティ' (Sustainability), and '株主優待' (Shareholder Benefits). Each icon has a dropdown arrow below it.

株主優待の情報についても、わかりやすくまとめています。

IRメール配信登録はこちらから
<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=8591>

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにより全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。